

最新のご参加者の声

複数回参加を続ける事で正確な効果を最大限にする身体づかいを学び、自らの認識の誤りを正していきたいと思い参加させて頂きました。拘束背芯崩しは足首の力を抜こうと思っても抜けなかったのが、踵を動かさないという先生の教えで、今まで動かそうと、切ろうとしていた意識が誤っていた事が分かり、主人にも「奥に入ってくる感じがして痛くなくなった」と変化が伝わりました。より地芯、股関節を感じる事が出来るようになりました。

拘束背柱崩しで人立重垂で背部をゆるめる際、高岡先生が左側の背部のベストラインを切って下さいました。その感覚が人立をとるとよみがえり本当にありがたかったと思い返しています。「スパッ」をつぶやくと手がフツとはなれてしまいそうな時は「クルウン」で、地芯からのエネルギーを足裏から身体へ続く面で感じたい、手技の時は「スパッ」を入れてつぶやきながら復習を続けています。

脛腿崩しで掌底線(面)を切る際の高岡先生の手に残った真っ直ぐの一線に衝撃を受けました。1度もずらさず捉える手技を行えるためには、このレベルで面を切らなければならないのだと感じさせて頂きました。長谷川さんに胸郭緩法を施術して頂きました。私は胸骨をどの位押してよいか不安でかなりおそろおそろ行っていましたが、ある程度の重みをかけてズルズルと落ちるようになって大丈夫だと感じられました。斜法の際の体の角度や、またザリガニの際の頭の向き等々とても勉強になりました。下瀬さんにご指摘の言葉を頂いて、今まで下腿振波をどう行っていたのか分からなかったのが、きちんと重心を落として取り組むべき方向を見つける事が出来ました。佐久間さんに大切なポイントを教えて頂き、側腰系の手技がとても行いやすくなりました。

まだまだ多くの認識違いもあると思うのですが、日頃家人相手に練習する際の疑問点を多く解決する事が出来、本当に参加させて頂いてよかったと思いました。高岡先生、調整師の皆さま、本当にありがとうございました。(関田有希子さん／50代女性／看護師／2019.1.14東京開催)

午前中の高岡先生の講座は、基本的なことの重要性や新たな発見がいくつもありません。

達人調整師の方々に教えてもらえる時間は、より細かいポイントや指導が多く、理解の助けになる1日でした。(鈴木雄二郎さん／40代男性／スキー／2019.1.19京都開催)

講座に参加した後、家に帰ってから身体の強い拘束の根に気づけました。背骨全体が非常に強く、右回りにねじれていることが、みえてきました。それを解消するように逆回りにゆるめていくと、今まで左半身にあった、つらい感じが消えてきました。左側の骨盤もねじれていて、左足が、まるで右足が着いているかのように違和感のあった状態も治り、普通に立っていてもバランスが悪く、トレーニングをしても効果がすぐに散ってしまい、まるで焼け石に水のような感じが、なくなってきつつあります。原因であった身体の拘束ができてしまったのが、13才の時に部活動で行っていた卓球だったことも解りました。正しく指導してくれる人がいなくて、我流の悪いフォームで一生懸命打っていたことで、できてしまった拘束でした。しっかりとした指導者がいないということは、とても恐いことだと思いました。極意やゆるのトレーニングをするようになってから20年以上たってしまいましたが、ようやく普通の人と同じスタートラインに立てつつあるかなと思える所までこれました。達人調整の講座に出たことによる効果はとても大きかったです。ありがとうございました。(40代男性／2019.1.14東京開催)

坂口さん、佐久間さん、長谷川さんへの施術を体験することができました。お三方ともに、受けながらこちらの施術のアドバイスを下さり、大変良い稽古をつけていただきました。印象に残っているポイントは、こちらに余り自覚がなくても、「重い重い」と手腕に重みを感じようとする事で、効果が何倍にもなるな、と気付いたことです。家族へのサポート、またゆる体操の指導現場での自分の持ちよう、そして日常の背骨トレーニングに大変有意な結果となっていると思います。何よりも、フィードバックがタイムリーで自分に向けられたものだったことに感謝します。今までよりも、私の日常生活につながる講座でした。(30代男性／2019.1.14東京開催)

達人調整の理をもって深く理解しようと思って参加しました。参加する毎に高岡先生を初め、調整師の方々のおかげですこしずつ理解が進んできていると思っています。まだまだ実力不足で色々と課題がありますが、着実に上達していけたらと思っています。貴重な機会を有難う御座いました。

(30代男性／自営業／2019.1.19京都開催)